

「川越市公立保育所のあり方（原案）」に対する
意見公募手続きの結果について

1. 意見公募手続きの概要

(1) 募集期間 令和3年11月22日（月）～令和3年12月21日（火）
（30日間）

(2) 募集対象

- ① 市内に住所を有する方
- ② 市内の事業所等に勤務する方
- ③ 市内の学校に在学する方
- ④ その他この案に関し、利害関係を有する方

(3) 閲覧場所

- ① 川越市役所こども政策課、各市民センター、川越駅西口連絡所、
各公民館、各児童館、子育て支援センター

※各公立保育園及び児童発達支援センターにおいては、当該施設利用者の閲覧を可能とした。

- ② 市ホームページ

(4) 意見提出方法

- ① 直接持参
- ② 郵送
- ③ ファックス
- ④ 市ホームページからの電子申請

2. 意見公募手続きの結果

- (1) 意見提出者 10名
- (2) 意見件数 15件

3. 意見の概要と市の考え方

提出されたご意見と意見に対する本市の考え方については、次のとおりです。

川越市公立保育所のあり方(原案)に関する意見に対する市の考え方

No.	原案 関連 ページ	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	-	<p>誰でも発症する可能性があること、発症をしたら予防薬も治療薬もない『化学物質過敏症』のことを他人事とせず、煙草の副流煙による健康被害のように、身近なこととして子どもが健やかに育つ環境を維持するため、保育現場から『人工的な香り』を排除する方向に、市から保育現場に向けて啓発をしていただくことを希望する。</p> <p>近年、アトピー性皮膚炎を患うお子さんが増え、対策の一つとして、柔軟剤の使用を控えるよう皮膚科医から通達されているが、保育士が柔軟剤を使用した状態で、乳幼児、未就学児と接することが当たり前となっている。</p> <p>保育園から借りた衣類からは、何度洗濯をしても落ちない柔軟剤を使用されており、化学物質過敏症患者のいる我が家では、喘息発作が誘発されてしまうなど、苦労が絶えない。</p> <p>埼玉県が作った『香りのマナー』に関する掲示物、五省庁合同で作成された香害啓発ポスターの配布など、市が主体となり全世帯への配布も希望する。</p> <p>小さな子どもたちが不必要な化学物質に晒され、有害な物質を吸い込み続けたことによる健康被害で『普通の生活』が奪われない日常、土台の構築をお願いしたい。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の保育所運営の参考とさせていただきます。</p>
2	P16,17	<p>公立、私立保育所に勤務した経験から、設備、保育の質の差は歴然としている。基礎作りの段階にある子どもにとって、何が大切かを考えさせられる。発達に応じた適切な対応・指導は、人的な余裕がないと無理であり、障害児への対応、栄養、設備など、保育士の研究も大切である。</p> <p>国は、少子化だからこそ金をかけ、子ども一人ひとりを大切に育てなければ豊かな日本は築けない。公立を減らすことは質の低下につながる。</p>	<p>公立保育所のあり方では、公立保育所の役割として、民間保育所との連携や情報交換、民間保育所との共同研修等により、保育の質の向上に向けて取り組むことを掲げており、こうした役割を果たすことにより、市全体の保育の質の向上を図ってまいります。</p>
3	P14,19	<p>P14で公立保育所の役割が3点の柱で記載されている。そうであれば尚更、公立保育所はこれまでに以上に質・量とも充実させるべきである。</p> <p>「住んでよかったと思えるまち川越」を目指すのであれば若い人たちが子育てしやすい「住みたいまち」にすべきである。</p> <p>公立保育所を半減することには賛同できない。</p>	<p>公立保育所については、果たすべき役割に基づき必要数を維持し、公立と民間の運営主体に関わらず、どの地域においても高い水準の保育が提供されるよう、保育の質の確保を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、公立保育所の数については、このまま少子化が進行し、保育需要が減少した場合に想定される園数を示したものであり、維持する園数は、就学前児童数などを考慮し、適宜見直しを行ってまいります。</p> <p>子育てしやすい「住みたいまち」とすることについては、川越市総合計画や川越市子ども・子育て支援事業計画の中で取り組んでまいります。</p>

川越市公立保育所のあり方(原案)に関する意見に対する市の考え方

No.	原案 関連 ページ	意見の内容	意見に対する市の考え方
4	P13	<p>5「保育を取り巻く課題」として、出生数の減少と民間保育所の増設により、保育需要の減少が見込まれることから、公立保育園を減らして対応することのだが、出生数が減っても保育園入園希望数が減るとは限らないし、むしろ、保育の環境の整った川越では是非、子育てしたいと若い世代が川越に転入してくれる活力ある川越を作っていく施策を進めていくことが大切なのではないか。保育の質で定評のある公立保育所を減らしてしまえば、子育て世代の転入の増加は見込めず、ますます出生数を減らすことになってしまう。</p>	<p>保育環境を整えるうえでは、公立と民間の運営主体に関わらず、どの地域においても高い水準の保育が提供されていくことが重要と考えます。</p> <p>公立保育所と民間保育所が連携を図り、地域全体で保育の質の向上に向けて取り組むことを公立保育所の役割として位置づけ、安心して保育や子育てできる環境を整えてまいりたいと考えております。</p>
5	P17,19	<p>保育需要の減少を何故、公立保育所で請け負うのかという問題である。川越ではこれまで、毎年のように民間保育所の認可を進め、今やその数は公立保育所の倍に上る。もちろん民間保育所の運営も守らなくてはならないと思うが、民間保育所は増やすが、公立保育所は減らすという方針には賛成しかねる。川越市で研修を熱心に進めてこられた結果、公立保育所の保育技術や保育の質は、民間を上回っていると思われる。保育士の先生方の年齢構成もバランスがとれていて、安定した保育が行われていることもうかがわれる。</p> <p>障害のあるお子さんの受け入れも、民間ではなかなか難しいと、民間保育所・幼稚園・認定こども園の代表の方々がヒアリングでおっしゃっていた。もし、公立保育所が減らされてしまったら、このようなお子さんは家から遠い保育園に通園しなくてはなくなる。ただでさえ、大変な子育てをしていらっしゃる保護者の方々の負担を考えると、もっと優しい市政をお願いしたいと思う。</p> <p>また、地域の子育て拠点としての役割、大規模災害の発生時のセーフティーネットとしての役割も公立保育所に期待されていることを考えると1園の削減も惜しまれる。むしろ、新しい公立保育所を増やしてほしいと思う。</p>	<p>本市では、民間活力を生かして待機児童の解消を進めてまいりました。</p> <p>これまで積極的に整備を進めてきた民間保育所等については、民間保育所の運営が維持されつつ市全体で適切な量の保育体制を確保していくことが重要と考えており、公立保育所との連携により、地域全体の保育の質の向上に協力して取り組んでまいります。</p> <p>また、民間保育所の整備が大きく進んだことにより、障害のある児童の受け入れについては、自宅からより近い園で保育を受けられる環境になるよう、公立保育所だけではなく、民間保育所等への積極的な受け入れが行われるよう支援を図ってまいります。</p>
6	P12	<p>公立保育所の運営費や設備費が市の負担となるため、市の財政を圧迫していることも分かる。民間保育園には国の補助が出るのに、公立保育所には出ないことは全くもって了解しがたい事である。この件については、是非、一緒に国の方針を転換するように訴えていきませんか。今は、川越市の未来を担う子どもたちのためにこそ、川越市民の税金を使っただけ、子育てしやすい市、子どもが生き生きと育つ市を作っていくことを望む。</p>	<p>公立保育所の運営費や整備費につきましては、国の地方財政措置の充実が図られるよう要望することについて検討してまいります。</p> <p>また、未来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、公立保育所のあり方に基づく施策の実施と共に、子ども・子育て支援に係る施策を推進してまいります。</p>

川越市公立保育所のあり方(原案)に関する意見に対する市の考え方

No.	原案 関連 ページ	意見の内容	意見に対する市の考え方
7	P19	<p>「公立保育所のあり方」(原案)では、川越市は人口微増傾向だが、少子化はいつそう進む、公立保育園は市の財政負担が重いので、老朽化した保育園は建て替えるのではなく、閉園し、各圏域に1か所に限定し、保育に欠ける子は、民間の保育施設に吸収してもらおうと言っているように読めた。</p> <p>私の住む地域で日常見かけるのは、保育園の園庭が貧弱またはなく、近くに公園も見当たらないという子どもにとっては劣悪な環境に見受けられる。近くの保育園も道路を渡った小さな緑地を遊び場としており、悲しくなる。また、別の保育園も向かいの林に行くには、車の絶えない怖い狭い道を横切るので事故が起きないか不安である。</p> <p>一方で、この地域では、どんどん新しい住宅が建てられ、若い家族が引っ越してきている。駅に近い保育園は、通勤の途中にあるという利点でほかの問題に目をつむって申し込む人がいるのだと思う。公立保育園が近くにあれば、公立に申し込みたいのではないか。保育士の勤務時間が短いのは、労働条件の問題でしょうから、保育の質も懸念される。</p> <p>いまある公立保育園を老朽化を理由に半分近くに減らすというこの原案には賛成できない。住まいの近くにある公立保育園は、貴重な市民の財産だと思う。働きながら子育てしやすい街づくりの設計をもっと描いていただきたい。</p>	<p>公立保育所のあり方は、就学前児童数の減少や施設の老朽化に対する今後の方向性を定めるために策定するものです。</p> <p>公立保育所については、果たすべき役割に基づき必要数を維持し、公立と民間の運営主体に関わらず、どの地域においても高い水準の保育が提供されるよう、保育の質の確保を図ってまいりたいと考えております。</p>
8	P17	<p>公立園の数を減らすと、増えている支援の必要な家庭の子や障害のある子を保育園で支援することが難しくなると思う。公立園を減らしてそのような子を今まで通り受け入れると、公立園には支援の必要な子が多く集まり、今までの保育園としての意味が変わってくる。今まで築いてきた統合保育の良さが崩れてしまう。</p> <p>「民間園において積極的な受け入れが行われるように支援」と言葉で言うことは簡単だが、保育士不足で保育士の継続勤務年数の少ないと言われる民間園では、対応しきれないことも多いと思う。何か問題が起きてからでは遅い。</p>	<p>統合保育については、その趣旨に鑑み実施することが必要と考えます。公立保育所で適切な受け入れ体制を確保するとともに、民間保育所での受け入れの支援について取り組んでまいります。</p>
9	P16	<p>公立園を減らしていくことから始めるのではなく、民間園の保育の質をしっかりと確かめて欲しい。</p>	<p>公立保育所のあり方に基づく施策を進めるうえで、「保育技術の向上と民間との共有による保育の質を確保する役割」のもと、公立保育所のみならず、民間保育所等の保育の質の向上を促進してまいります。</p>

川越市公立保育所のあり方(原案)に関する意見に対する市の考え方

No.	原案 関連 ページ	意見の内容	意見に対する市の考え方
10	P12	<p>公立園の運営費の記載があり、公立園が財政負担になっているとかかかれているが、配慮が必要な子が増えた子が多いため職員も増えている。そのための増額は仕方ないことだと思う。実際、保育園は予算の少ない中で工夫しながら保育を行っている。</p>	<p>公立保育所の運営費については、全額が市費による負担として示しておりますが、公立保育所のあり方は、就学前児童数の減少や施設の老朽化に対する今後の方向性を定めるために策定するものです。 配慮が必要な子どもへの対応については、公立保育所の役割として示しており、保育に必要な予算については確保していく必要があると考えます。</p>
11	P19	<p>「公立保育所の統廃合などにより需給バランスの調整を図ります。」について</p> <p>「川越市の公立保育所のあり方に関する検討報告」には公立保育所への期待が数多く寄せられていて、この原案にも公立保育所の果たす役割が数多く記されている。それにもかかわらず、需給の調整を公立保育所だけが負い、しかも統合や廃止にまで言い及ぶことは、原案全体の中で、つじつまが合わない。少なくとも、この表現は削除することが望ましいと思う。</p>	<p>今後、就学前児童数の減少が想定される中で、保育の利用者数についても減少することが予想されます。 定員調整の考え方といたしましては、民間保育所の運営が維持されつつ市全体で適切な量の保育体制を確保していくことが重要と考えております。統廃合などの具体的な対応につきましては、今後、保育需要を考慮し、適宜検討してまいります。</p>
12	P19	<p>自治体の役割は、住民の福祉の向上に努めることだと思う。保育に対しても住民の福祉向上の一環として、住民のニーズにいかにかたえるかが、自治体の仕事だと思う。</p> <p>しかし、この原案は、経費がかさむことを理由に公立保育所を減らすという結論が、先にあるように思えます。公立保育所の意義を随所に記している原案をいくら読み直しても、また途中の審議の内容、さらに保育所利用の保護者や公立・私立の保護者のアンケート結果をみても、公立保育所を統廃合するという結論を見出すことができない。</p> <p>関係される皆様方が、維持費がかさむから公立保育所を減らすということに心をくだくのではなく、公立私立を問わず、いかにして保護者のニーズにかたえるかということ、場合によっては国に支援を求めるということ等々にご尽力されることを願ってやまない。</p>	<p>公立保育所のあり方は、就学前児童数の減少や施設の老朽化に対する今後の方向性を定めるために策定するものです。 保育所運営にあたりましては、保護者のニーズを捉えて質の向上に努めるとともに、公立保育所の運営費や整備費につきましては、国の地方財政措置の充実が図られるよう要望することについて検討してまいります。</p>

川越市公立保育所のあり方(原案)に関する意見に対する市の考え方

No.	原案 関連 ページ	意見の内容	意見に対する市の考え方
13	P19,21	<p>少子化対策とは、少子化に合わせて事業規模を縮小するのではなく戦略的に少子化をどう克服しプラスにしていくかではないか。</p> <p>公立保育園の役割として、たくさんの方があげられていたが、それを具体的にどう実現するのか、政策を具体化していくと現在の保育園の人員又は園数でも足りなくなるのではないか。</p> <p>以前は川越市の保育園の2/3が公立で、現在は1/3、そしてこの計画が進むと1/5になる。公立保育園の役割を実現できるのか。</p> <p>定員減の調整弁を公立保育園のみに課すのはいかがか。</p> <p>総合計画の第1章は「子ども・子育て」政策の1丁目1番地である。その分野で川越市100年を迎える年に公立保育園を減らす提案はさみすぎる。</p>	<p>少子化への対応につきましては、川越市総合計画や子ども・子育て支援事業計画の中で取り組んでまいります。</p> <p>また、公立保育園の役割に基づく保育の実施など、将来の保育を維持するために必要な人員や体制について確保してまいります。</p> <p>定員調整の考え方といたしましては、民間保育園の運営が維持されつつ市全体で適切な量の保育体制を確保していくことが重要と考えております。</p>
14	P19,21	<p>子どもが減っていく前提で話を進めているのはどうなのか。</p> <p>子育てに力を入れる取り組みで、人口を増やしている自治体もある。川越市が将来、発展し、人口を増やしていくためには、子ども政策に力をいれるべきである。</p> <p>近年、脳科学の発展により、幼児期に適切な子育てを受けることが大切だと科学的に証明されてきた。</p> <p>公立保育園は、市と密接した関係にあるのもメリットの一つである。密接した関係だからこそ、保育園を含め、子育てに力をいれている自治体としてアピールができると思う。</p> <p>また、継続して働く職員が多いことで、経験が積み重なり、より良い保育が提供できる。</p> <p>就学前に、より良い保育が受けれる、そしてそれが川越市と密接な関係の公立保育園というのは自治体の強みになり得るのではないか。</p>	<p>少子化への対応につきましては、川越市総合計画や川越市子ども・子育て支援事業計画の中で取り組んでまいります。</p> <p>保育や子ども・子育て支援に係る施策を総合的に推進し、安心して子育てできる環境づくりに取り組んでまいります。</p>

川越市公立保育所のあり方(原案)に関する意見に対する市の考え方

No.	原案 関連 ページ	意見の内容	意見に対する市の考え方
15	P19,21	<p>公立保育園の強みは職員のスキルの蓄積がされる事だと思う。民間の保育園で勤めていた事もあるが、勤続年数が長くても昇給額が少なかったり、結婚、妊娠を期に現場を去る先生が多く、なかなか、現場の保育スキルが蓄積されにくい状況がある。その点、川越の保育の安定のためにも、縮小、委託ではなく公立20園を維持できたらと思う。</p> <p>ただ、公立保育園でも多様な子どもが増え、不適切な養育による発達に困難を抱えている子どもが増えている現状がある。</p> <p>国が定める保育士基準では、保育を保障する事の困難さを感じている。また統合加配人員を入れてもらってもカバーできないほど、発達に困難を抱えている子どもが沢山いる。</p> <p>少子化が進む中で、一方で養育に困難を抱える家庭がある。1クラスの集団規模を小さくすることで、より穏やかに保育ができ、子育てに困難を抱える保護者のケアができると思う。</p> <p>保育園は子どもはもちろん、保護者のSOSをキャッチしやすい場所。だからこそ、そこで見落とさずしっかりケアすることが必要と思う。</p> <p>そのため、今後も定員数を小さくして、20園のまま公立保育園を存続してほしい。</p>	<p>公立保育所では、これまで長い年月をかけて培ってきた保育技術が蓄積されており、こうした経験や実績を民間と共有することにより、公立と民間の運営主体に関わらず、どの地域においても高い水準の保育を提供していくことが重要と考えております。</p> <p>また、困難を抱える家庭については、積極的に受け入れ体制を確保する役割があるものと考えます。</p> <p>公立保育所における定員数の調整につきましては、将来の就学前児童数を考慮して、民間保育所の運営が維持されつつ市全体で適切な量の保育体制を確保していくことが重要と考えております。</p>